

佼成学園中学校・高等学校

Homepage



「男子×グローバル」の新コース誕生 グローバルリーダーを育成する



from the School

榎並紳吉校長

本校で自分の得意なことを見つけ、「人間力」の器を大きく育ててほしい。



上/モンゴルでの異文化体験プログラム。ゲルでの宿泊や独特な文化を持つ現地の生活を体験する。



左/タイ・フィールド実践プログラムでは、現地の中学生と交流する。



上/国際交流委員長で英語科の小塩雅一先生。

右/世界平和を実現させる人材を育成する「グローバルコース」が新設される。国際系学部や海外大学への進学を目指す。



左/マニラ平和学習では、現地の子供たちと一緒に、住んでみたい地球の姿について考えてプレゼンテーションを行う。

右/学習ツールとして1人1台iPadを持ち、オンライン英会話などにも活用する。



海外や国際系の大学への 進路を拓く「新コース」

モンゴルをはじめとするアジア諸国や欧米など、佼成の世界的なネットワークを活用した、グローバルリーダープロジェクト（以下、GLP）に取り組んできた佼成学園中学校・高等学校が、2021年度、新たに「グローバルコース」を開設する。

榎並紳吉校長は、新設の理由と目的を次のように説明する。

「4年前、異文化体験、語学研修、平和学習を軸に、課外授業としてスタートしたGLPの人氣が非常に高く、志願者が年々増えたことから、グローバル教育に特化した新コースを、中学と高校に同時開設することになりました。『平和な社会の繁栄に役立つ若者の育成』が本校の建学の精神。新コースでは中高6年間を通じて、真のグローバルリーダー育成を目指し、その土台となる人間性・人間力の器を大きくするための、多様な教育プログラムを提供していきます」

中学・高校ともに「グローバルコース」は、学年1クラス（定員35名）を予定。中学は「グローバルリーダーになるための素養を磨く」時期と位置づけ、GLPで特に好評だったモンゴル、フィリピン、タイで行った異文化体験海外プログラムを用意するほか、探究学習を盛り込んだグローバル教養講座や、使える英語の強化を図る授業を拡充させる方針だ。

国際交流委員長で英語科の小塩雅一先生は、「GLPを振り返ると、中学生はやはり実践的英語力が足りません。そこで、スピーキング力などのレベルアップを目指し、ネイティブ教師の授業率を高くするほか、iPadを使ったオンライン英会話レッスンも導入します」と語る。

同校のグローバル教育の特色である、海外のフィールドワーク体験の事前学習・事後学習も、新コースでは、渡航先の国が抱える課題と背景について、探究をより深化させつつ、国際的教養を育成する。

体験に重きを置く中学に比して、高校は学習ベースのプログラムが中心になるが、魅力的な海外フィールドワークや、留学システムも数多く用意している。なかでもアメリカの大学訪問や現地の企業家との交流を通して、グローバル社会の多様な視座と、海外で活躍する手法を学ぶボストン研修は、海外大学や国際系学部への進学を促す好機となるに違いない。

世界へ羽ばたく男子の育成を旨とする佼成学園の教育エッセンスが、凝縮した新コースといえよう。

School Data

〒166-0012
東京都杉並区和田2-6-29
☎03-3381-7227
<https://www.kosei.ac.jp/boys/>

- 創立 1954年
- 交通 東京メトロ丸ノ内線「方南町」駅から徒歩約5分

コアネットの目

社会の変化に柔軟に適應できる人材を育てる積極的なICT活用 ▶ 生徒1人1台のiPadを他校に先駆け導入し、校内にはICTを活用した学習が根付いている。だからこそ、対面授業ができない状況下でも対応は非常に柔軟だ。オンライン授業への切り替えを早々に決断し、準備も実践もしっかりと行った。このような姿勢・環境のもと、生徒は予測不能な社会にも柔軟に適應できる人材へと育っていく。